

地域包括支援センター名称	日時	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討結果
北町	H31. 3. 12	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所、区民防災課	34人	【テーマ】 地震災害に私たちはどう備えるか 【目的】 地域で暮らす町会・自治会、民生委員、老人クラブや活動する事業所、訪問支援協力員を交え、地震災害に備え「今」できることの確認をし、参加者は地域の支援者として災害への備えをどのように地域へ伝えていくかを話し合う。	・「自助にはどうしたら良いのか考えたい。」「ご利用者様宅訪問時、地震災害のための備えについて伝えたい。」などの意見があがった。 ・東日本大震災における地震災害の映像を見て、改めて事前の備えの必要性を認識した。時間が経つと忘れてしまうため、定期的に確認することで、私たちが関わっている地域の方々にも啓発していきたい。
練馬キングス・ガーデン	H30. 11. 28	民生委員、町会・自治会、認知症家族会、介護サービス事業所、地域生活支援センター、警察署、消防署、危機管理課	38人	【テーマ】 練馬区の防災について 【目的】 早宮・氷川台地域における実際の防災取り組みや地域課題、それぞれの立場から防災を考える。	・「支援者である自分たちが、防災について知らないことや意識していなかったことが分かり、今後役に立てることができそうだ。」などの意見があがった。 ・いつ起こるかもしれない災害に対して、危機感だけでなく、今できることは何かを知ることができた。
田柄	H31. 2. 14	民生委員、町会・自治会、医師、訪問支援協力員、介護サービス事業所、コンビニエンスストア、公衆浴場、敬老館、地区区民館	41人	【テーマ】 実際に今ある「居場所」、あったらよい「居場所」について 【目的】 高齢者の居場所づくりでコンビニエンスストアでのイートインスペースや、地域集会所、公衆浴場等の現状把握等についての意見交換を行い、今後の連携を深めていく	・当日はセンターで作成した地域資源マップを活用し地域のコンビニエンスストア、スーパー、銭湯等の社会資源の状況を見える化し、話し合いの材料として活用した。 ・高齢者の居場所づくりについて、センターと自治会・町会等連携のとり方を長期計画で考える必要があること、近隣との関係が希薄な高齢者をどのように人の和に引き込んでいけるかなど、活発な意見交換ができた。
練馬高松園	H30. 7. 13	民生委員、介護サービス事業所、訪問支援協力員等	33人	【テーマ】 練馬区の福祉サービスについて 【目的】 高齢者在宅生活あんしん事業、紙おむつ等の支給等のニーズの高い区の福祉サービスに関して、新たな申請書、説明書を配布するとともに、福祉サービスに関して話し合う。	・「改めて介護保険以外の練馬区の福祉サービスを確認できた。」「新任ケアマネジャー向けにまたやって欲しい。」などの意見があがった。 ・区の福祉サービスを学びなおすとともに、ひとり暮らし高齢者等訪問事業に関しても周知ができた。
光が丘	H30. 11. 16	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、見守り協定事業所、介護サービス事業所・地域生活支援センター、ボランティアセンター、はつらつセンター、NPO法人等		【テーマ】 光が丘圏域の課題検討 【目的】 認知症、独居、身寄りがなく金銭管理含め生活支援の必要な高齢者の事例を通し、光が丘圏域の課題を検討する。	・「簡単な事例から本人の意志表示・不安・孤独感をとりあげて深く話し合いができ、地域のつながりを強く感じた。」などの意見があがった。 ・「生活全般を管理できるキーパーソンが不足している」という課題が多く挙がった。
高松第3育秀苑 ※合同開催	H30. 12. 13	民生委員、町会・自治会、駐在所、ケアマネジャー、生活支援員、区民防災課等	26人	【テーマ】 高齢者の住み替えについて 【目的】 「高齢者の住み替え」という身近なテーマをもとに、土支田地域に住む高齢者に携わる関係機関が課題の共有や知識を深め今後の支援に活かす。	・グループに分かれて、地域の高齢者の住み替えについての課題、地域の中であれば良いと思う活動等を話し合った。 ・初めて2か所のセンターでの合同で開催した。いずれも土支田地域の一部が担当であり、隣接地域の方とも交流の機会がもて、地域課題の一つと思われる住まいに関して関心を持って参加していただけた。